



交通事故の発生状況と死亡事故の特徴

～平成25年12月31日現在～

夕暮れ時の事故防止「ラ・ラ・ラ運動」実施中！

1 交通事故発生状況(人身事故概数)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	9,851	84	88	717	11,930	12,647
前年	10,409	63	64	789	12,533	13,322
増減	数	-558	21	24	-72	-603
率		-5.4	33.3	37.5	-9.1	-4.8
						-5.1

2 全国及び東北の死者数

区分	全国	東北	宮城県	青森県	岩手県	秋田県	山形県	福島県
本年	4,373	374	88	48	72	48	39	79
前年	4,411	374	64	59	83	42	37	89
増減	数	-38	0	24	-11	-11	2	-10
率		-0.9	0.0	37.5	-18.6	-13.3	14.3	5.4
								-11.2

3 交通死亡事故の主な特徴

(1) 「緊張感の欠如」による事故が多発

漫然(ぼんやり)・脇見運転、安全不確認等の車両運転時の「緊張感の欠如」による事故が多く、約半数(84件中39件、46.4%)を占めました。

(2) 高齢者の死者数が約4割を占める

65歳以上の高齢者が、死者の約4割(88人中37人、42.0%、前年比+13人)を占めており、状態別では、歩行中が15人(横断12人、対面通行1人、その他2人)、自転車5人(出会頭3人、その他2人)等でした。
(平成25年11月末の全国の高齢死者構成率:52.5%)

(3) 自転車の事故が多い

自転車乗用者が死亡した事故が、7件7人(前年比+3件+3人)発生、単独事故1件、出会頭事故3件、追越追抜1件等で、自転者側にも3分の1の割合で前方不注意、安全不確認等のが認められました。

(4) 飲酒運転事故の発生状況

飲酒運転死亡事故が、7件8人(前年比+1件+1人)発生し、内訳は車両単独5件、出会頭1件、正面衝突1件で、飲酒運転者本人が7人、同乗者が1人死亡しました。

なお、飲酒運転の人身事故(原付以上)が108件で、前年比+15件(増減率+16.1%)と増加しており、うち74件は、中央ブロック(仙台市内51件)での発生。

(5) 歩行者事故の発生状況

歩行中死者は、20人(横断中15人、対面・背面通行2人、その他3人)で、前年比-11人と減少しているが、14人に走行車両直前・直後横断等の違反が認められました。

(6) 安管事業所の事故が多い

12件が、安全運転管理者選任事業所の従業員による事故(通勤中3件、業務外9件)である。なお、安管事業所従業員による飲酒死亡事故が、2件2人(いずれも業務外)発生。

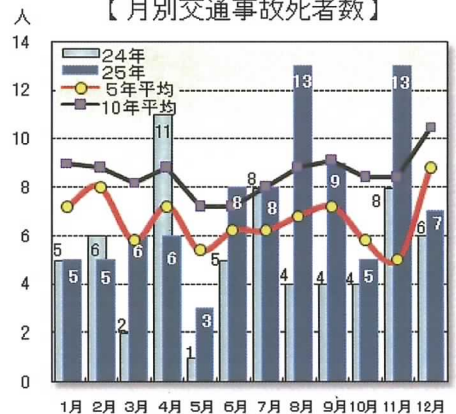
(7) 四輪乗車中の死者が多い

状態別では、四輪乗車中が47人(前年比+23人)と最も多く、さらに、死者の23人は、シートベルト非着用で、うち15人が、シートベルトを着用していれば、死に至らなかったと思われます。

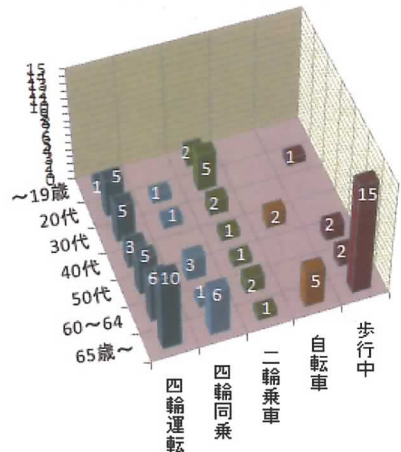
(8) 正面衝突事故が多い

対向車線にはみ出しの正面衝突事故が21件24人と激増(前年比+13件+16人)しました。また、凍結・積雪路面での滑走を伴う正面衝突の事故が11月から12月にかけて2件2人発生しました。

【月別交通事故死者数】



【状態別年齢別死者数】



【曜日別死亡事故発生状況】

